

---

## 出版情報

---

書名・件名	昭和58年 労働経済の分析
編集者・監修者	労働省
発行日	

---

## 「昭和58年労働経済の分析」(労働白書)の発表に当たって

昭和58年のわが国経済は、第2次石油危機後の長期にわたる景気停滞からようやく脱し、本格的な景気回復への第一歩を踏み出しました。こうした経済情勢の中で、労働経済面でもなお厳しさが残っているものの回復の動きが徐々に広がってきています。今後、適切な経済運営の下に積極的な労働政策を講じることにより、こうした改善の動きを確実なものにしていかなければなりません。

しかしながら、長期的にみると、わが国経済の安定成長への移行や高齢化の進展等の構造的変化は、賃金上昇率の鈍化や老後生活の負担の増大など勤労者生活に様々な変化をもたらしているため、本年の労働白書は、勤労者生活の実態について分析を行いました。

今後このような勤労者生活を向上させていくためには、住宅の取得、子どもの教育、転勤、そして老後生活といった勤労者のライフサイクルの中で生じる諸問題について、特に、経済的負担の大きい中高年齢者や、企業の福利厚生や退職金の面で大きな格差のみられる中小企業労働者、あるいは既に全労働者の3分の1を占めるようになった女子労働者の生活を重視しながら、労使の積極的対応と勤労者生活に関する各種施策の総合的な推進が必要であります。また、そのためには持続的な安定成長の確保が重要なことはいうまでもありません。

この白書がこうした勤労者生活の諸問題について国民各層の理解を深めるための一助となれば幸いです。

昭和59年7月 坂本 三十次 労働大臣